


講義日時	2016年10月4日（火） 18:00～19:30
講義タイトル	知的財産と起業（1）
講義概要	<p>ベンチャー起業において、特許を始めとする知財は非常に重要であります。融資や投資の際には、ベンチャー企業がどのような知財を保有しているか（あるいは、ライセンスを受けているか）が非常に重要な判断基準となっています。いくら技術が優れていても、それを守る知財が無ければ、他社による模倣などを防ぐことができないためです。</p> <p>本講義では、元企業の知財部門に勤めていた経験に基づいて、知財にはどのような種類があるかについて説明し、知財の中でも最も重要な特許権について、その制度や、その活用方法を説明し、更には企業のビジネスにどのような影響を与えるかについて説明をいたします。</p> <p>私は、企業の知財部門では、競合企業との間で、いくつものライセンス契約交渉や特許侵害訴訟の経験をしてきており、ビジネスにおける知財の重要性（特に「怖さ！」）を実感しています。今回の講義で、少しでも知財の重要性を理解頂ければと思います。</p> <p>参考図書： 『キヤノン特許部隊』 丸島儀一著 （光文社新書） ※ 知財業界では超有名人の丸島氏の著書です。企業知財部員なら必ず読んでいると思います。比較的ページ数が少ないので読みやすい本です。</p>
受講者へ一言	<p>特許や知財というと、なにか難しい印象があると思います。できるだけ身近な例を挙げて、実は皆さんが知っている色々なものに特許を含めた知財が関係していることを判って頂きたいと思います。</p>

講師情報

講師氏名	鬼頭 雅弘	
講師氏名よみ	きとう まさひろ	
所属・役職等	名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 知財・技術移転グループ グループリーダー、教授 弁理士	
略歴等	<p>1965年生まれ。</p> <p>1990年3月 名古屋大学大学院工学研究科博士課程前期修了 ※大学（院）では、赤崎先生の下で天野先生と共に青色LEDの研究に従事</p> <p>1990年4月 松下電器産業株式会社（現パナソニック株式会社）に入社 光通信用半導体レーザの開発・事業化に従事</p> <p>1998年10月 名古屋大学にて博士号（工学）を取得</p> <p>2003年9月 弁理士資格取得後 同社半導体社 知的財産権センターに異動 半導体分野を中心とした知的財産権全般の業務に従事</p> <p>2015年7月 パナソニック株式会社退職</p> <p>2015年8月 名古屋大学に着任</p> <p>2015年10月 知財・技術移転グループのグループリーダーに就任</p> <p>名古屋大学の知的財産全般について担当しています。知財・技術移転グループでは、教員の発明相談から出願、権利化、技術移転までを一貫して行っています。また、技術移転の一つの形態としてのベンチャー起業への支援も行っています。最近では、産学官連携の活動指標としての知財収入の増加が課題であり、大学でも知的財産の重要性が増してきています。</p> <p>趣味は、これと言ってありませんが、お酒を飲むことが好きです。ただ、最近健康を気にして量を減らしています。</p>	